

神奈川県立大師高等学校
平成 25 年度 不祥事ゼロプログラム
検 証 結 果

《課題と目標（達成すべき内容）》

	課 題	目 標（達成すべき内容）	検 証
1	適正な私費、会計、現金管理	適正な私費の徴収・執行を行う。	○
2	個人情報管理の徹底	携帯・電子メール・USB メモリーの適正使用を含め、個人情報流出を未然に防止する。情報セキュリティの対策を行う。	○
3	セクハラ、わいせつ行為の防止	セクハラ、わいせつ行為を未然に防止する。	○
4	体罰、不適切指導の防止	生徒の人権に配慮し、体罰等が起こらないようにする。	○
5	適切な業務執行体制	業務執行体制を整え、不祥事を防止する。	○
6	交通事故、公務外非行防止	交通事故を未然に防止する。 公務外の不祥事を未然に防止する。	○

（検証欄：○＝実施）

《実施と検証》

- 1 事故防止全体会議 年間 13 回 （内容：上記項目）
 事故防止全体研修会 年間 4 回 （内容：カリキュラム、私費会計、不祥事防止、人権教育）

	課 題	検証のまとめ
1	適正な私費、会計、現金管理	年 2 回の監査によって、適正な私費の徴収・執行が行われたことが確認できた。また 5 月に全体研修会を行い執行手続き等について徹底を図った。
2	個人情報管理の徹底	学校管理の U S B 使用が徹底できた。個人情報の扱いについては職員全体の個人面談指導を行った。
3	セクハラ、わいせつ行為の防止	全体会議・研修会において、県からの啓発資料や事例を紹介することで、教育公務員としての自覚を促した。
4	体罰、不適切指導の防止	生徒の人権に配慮した適切な生徒指導が徹底されるよう 8 月に研修をおこなった。
5	適切な業務執行体制	適宜適切な研修を行った。神奈川県教委のガイドラインなどを改めて確認した。入選業務についても、マニュアルの点検を行い、事故防止に努めた。
6	交通事故、公務外飛行防止	研修会において、県からの啓発資料や事例を紹介することで、酒酔い運転・酒気帯び運転を未然に防止するための啓発活動を行った。来年度以降もタイムリーに情報を提供し、引き続き啓発活動を行いたい。